



ぐるっとマップ

No.299 池田街中散策

保存版

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

江戸時代になって世の中が安定すると、池田町は北の大町宿と南の保高宿の中間の宿場町としてまた商業の町としても栄えました。今も池田の街中を歩くと歴史ある神社や建物に当時の面影を感じることができます。今回のマップでは池田の奥深い歴史に触れられる街中のスポットを紹介します。

お問い合わせ: 池田町観光協会 0261-62-9197

① てるてる坊主の館(浅原六朗文学記念館)

童謡「てるてる坊主」の作詞者・浅原六朗は、池田町一丁目の造り酒屋「飯田屋」に生まれました。ここでは六朗の作品や日記、蔵書などの資料を展示しています。入館無料、月曜・祝日・年末年始休館、9:30~17:00

② 池田町文化財資料館

2020年7月にオープンした新しい施設で、池田町の歴史と文化に関する資料を一室に集め、公開しています。入館無料、月曜・祝日・年末年始休館、9:30~17:00

③ 池田八幡神社

約360年前に、京都の岩清水八幡宮から分祀されたという由緒ある神社。例祭では町内を8台の舞台が練り歩き、お船引きなどが行われます。



④ 林泉寺・稲荷神社

寺は安政3年の大火で焼失し、現在は稲荷社のみが残っています。華やかだった頃の面影が、今もわずかに感じられます。



⑩ 池田宿牛つなぎ石

宿場町池田宿の面影を残すシンボリックな石です。



⑪ 豊町のお観音様

池田宿安泰のため、町の南北の入口に観音様が祀られています。観音堂が設けられたのは1770年頃といわれています。



④ 浄念寺 本尊は阿彌陀如来。如來輪観音坐像は木食山居の作で、その大きさと金箔が施された美しい像容から山居の最高傑作とされています。

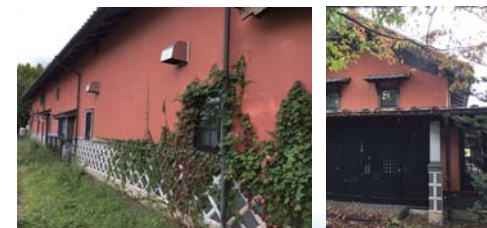


⑤ 殿小路

池田2丁目交差点の東は旧駅前通りでもありますが、若松城の正面大手口にあたることから殿小路と呼ばれます。かつては現在よりも道幅が狭かったそうです。

⑥ 若松城跡

江戸時代初期の松本藩主戸田康長の隠居のための城として1619年から11年間工事が行われましたが、世継ぎが急死したため取り壊しとなり幻の城跡となりました。内堀が完成し、若い松を植えたことから「若松城」と呼ばれています。



⑦ 御田蔵

年貢米の保管や凶作に備えた貯蔵倉庫。間口1.5間、奥行き4間で、積込総量3000俵と言われました。

⑧ 旧池田鉄道 信濃池田駅跡

池田鉄道は大正15(1926)年から昭和13(1938)年まで走っていた鉄道です。安曇追分駅で信濃鉄道(現在のJR大糸線)から分岐し、池田五丁目までの6.9kmを運行していました。本社事務所とホームの跡が残っています。



このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、2021年12月10日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。